

会 議 録

会議の名称	第1回斑鳩町都市計画マスタープラン策定委員会
開催日時	令和2年3月24日(火)
	午後2時開会 午後3時40分閉会
開催場所	斑鳩町役場 3階 第1会議室
議長等の氏名	会長 丸尾尚史、 職務代理者 西梶浩司
出席者	栗原昭子、武安眞嗣、西梶浩司、松久喜樹、丸尾尚史、水谷知生、宮崎亮、川本智裕、西尾雅央
欠席者	菅原素子
事務局	町長 中西和夫 都市建設部長 植村俊彦 都市整備課課長 松岡洋右 都市整備課課長補佐 峯川敏明 都市整備課係長 土谷純 (株)日本都市計画研究所 岩溪、久末、山本
議題	1.町長挨拶 2.委嘱書交付 3.委員紹介 4.会長選出及び同職務代理者の指名 5.議事 (1) 斑鳩町都市計画マスタープランの改定について ①都市計画マスタープランについて ②斑鳩町の現状とまちづくりアンケート調査の結果について ③都市計画マスタープランの改定にむけた課題等について ④都市計画マスタープランの改定の方向性について ⑤今後のスケジュールについて (2) その他
会議経過	1.町長挨拶 2.委嘱書交付 3.委員紹介 4.会長選出及び同職務代理者の指名 5.議事 (1) 斑鳩町都市計画マスタープランの改定について (2) その他

<p>会議資料</p>	<p>【配付資料】 斑鳩町都市計画マスタープラン策定委員会委員名簿 斑鳩町都市計画マスタープラン策定委員会規則 都市計画図 資料1 都市計画マスタープランについて 資料2 斑鳩町の現状 資料3 まちづくりアンケート集計結果報告書【概要版】 資料4 都市計画マスタープランの改定にむけた課題等について 資料5 都市計画マスタープランの改定の方向性について 資料6 都市計画マスタープラン改定スケジュール</p>
<p>発言者</p>	<p>(議事) 発言の要旨</p>
<p>町長</p> <p>町長</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p> <p>丸尾会長</p> <p>事務局</p>	<p>1. 町長挨拶</p> <p>本日は、お忙しい中、委員の皆様には第1回斑鳩町都市計画マスタープラン策定委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。平成23年3月に策定いたしました斑鳩町都市計画マスタープランが次年度において終了することから、本策定委員会におきまして、次期都市計画マスタープランのご審議をお願いいたします。</p> <p>魅力のあるまち、訪れたいまち、住み続けたい、住んでよかったと思えるまちにするため、次期都市計画マスタープラン策定に向け、忌憚のないご意見を頂きますようお願いいたしまして、ご挨拶といたします。</p> <p>2. 委嘱書交付</p> <p>(町長より委嘱書交付)</p> <p>3. 委員紹介</p> <p>(事務局より委員紹介)</p> <p>(事務局職員紹介)</p> <p>4. 会長選出及び同職務代理者の指名</p> <p>(栗原委員より、丸尾委員推薦の意見あり。)</p> <p>(各委員、異議なし)</p> <p>丸尾委員に会長をお願いする。</p> <p>10年間の将来のまちを決める大事なマスタープランであり、ご協力をよろしく申し上げます。</p> <p>職務代理者は、西梶委員を指名する。</p> <p>本日の審査会の署名委員は、栗原委員、武安委員をお願いする。</p>

事務局	(資料の確認)
丸尾会長	(1) 斑鳩町都市計画マスタープランの改定について ①都市計画マスタープランについて 事務局より説明を求める。
事務局	(資料 1 に基づき説明)
委員	藤ノ木古墳のすぐそばまで宅地開発が迫っている。国や県へ要望を出して公園整備するなど、古墳周辺を守る必要があると思う。
事務局	当該地は市街化区域に含まれており、規制をかけることはむずかしい面がある。市街化調整区域へ変更することも土地利用の幅を狭めることからただちには難しい。県とも連携して何ができるのか考えていきたい。
丸尾会長	②斑鳩町の現状とまちづくりアンケート調査の結果について 事務局より説明を求める。
事務局	(資料 2、3 に基づき説明)
委員	資料 2、P8、転入・転出者数で、近年の社会増の背景は何か。
事務局	個々の理由は定かではないが、医療費を中学生まで無料化、給食も中学まで自校方式とするなど、子育て世帯への支援に注力した結果、転入が増えてきたものと考えられる。
委員	160人も社会増となると、微増傾向ではない。
委員	社会増が自然減を上回っている。人口減少には歯止めがかかるのではないか。10年後の人口推計はどうなるのか。
事務局	都市計画マスタープランと同時に総合計画の見直しも進めており、人口ビジョンも同時に見直し、そのなかで、長期的な将来人口を示す予定となっている。社会的には減少するものと思われるが、減少幅がどのようになるのかというところ。総合計画などとリンクさせていく。
委員	資料 2 の P2 と P3 の人口の数値の違いは何か。
事務局	P2 は総人口を示している。P3 では年齢不詳者を除いているため数値が異なっている。

委員	コメントなどで説明の補足をしたほうがよい。
委員	P7の回答者の属性についても平成27年度調査と比較したほうが良い。
事務局	確認のうえ、修正する。
委員	P10の住みごこちの評価が平成27年度調査より良くなっているが、これは居住年数とも相関があるのか。そのあたりの分析はいかがか。
事務局	年齢別にクロス集計すると、特に50代以上で評価が高くなっている。
委員	アンケートの回収率が落ちている。何か変化があったのか。
事務局	アンケートの結果、回収率が落ちたものと思われる。
委員	調査の中身は同じか。
事務局	前回調査の内容に少し総合計画や都市マス関係の質問を加えた。
委員	ボリュームの大きさや、景気などによって回収率が変わることがある。
委員	アンケート時期も12月で、年末などあわただしい時期でもある。
委員	アンケートの対象者は、年代ごとの配分に配慮を加えたか。
事務局	完全に無作為抽出した。ただ、結果として概ね人口構成に沿った抽出となった。
委員	P13、満足度に関して、下水道の接続率が低いにもかかわらず、アンケートでは不満と思われていない。なぜか。
事務局	公共下水道の整備が若干遅れていることが接続率に影響している。不満のあるなしに限らず、環境改善として、引き続きすすめていく。
委員	アンケートで空き家に関する意見があった。以前、町広報紙で悉皆調査をすると見たことがあるが、実施したか。
事務局	外観調査であるが、シルバー人材センターと協力して調査したことはある。
委員	いかるがパークウェイの早期完成を要望する。幹線道路の整備は、商業施設の誘致や、行き止まりなどの道の解消にもつながる。

事務局	P14にもありますように、道路・交通網の整備は優先順位としても1番高くなっている。次のマスタープランにも反映していくべきものと考ええる。
委員	P12をみると、近所との関わりや防災訓練への参加などが減っているなど、地域のつながりがかけてきている。地域の絆を強める、住民が参画していくことが大事と考えるが、まちづくりにおいてどのように考えているか。
事務局	意見については認識している。自治会活動などの充実が求められており、それが防災にも有効となる。マスタープランにどのように反映できるか。
委員	P15は判りやすいと思いますが、P14の算出方法は。また、評点のつけ方に意味はあるか。
事務局	点数は、意見数と評点から算出している。評点のつけ方、特段の意図はなく、意見を数値化するためにつけている。
丸尾会長	③都市計画マスタープランの改定にむけた課題等について 事務局より説明を求める。
事務局	(資料4に基づき説明)
委員	まちづくりの課題②について、まち歩きを楽しんだり、自転車に乗って楽しむなどできるよう、安全にまわれる環境整備を望む。
委員	生活道路の整備とは、既存道路の整備を指すのか。幹線道路と生活道路の違いは何か。
事務局	幹線道路は都市計画道路などを指す。生活道路は既存の町道等を指す。
委員	まちづくりの課題①にある「商業系施設の誘導」とは具体的にはどういう内容か。
事務局	例えば、駅周辺に商業系の用途地域を検討するなど民間が進出しやすい環境づくりをすることを考えている。
委員	法隆寺周辺の商店も衰退している。今後どうしていくのが課題だと思う。

丸尾会長	④都市計画マスタープランの改定の方向性について 事務局より説明を求める。
事務局	(資料5に基づき説明)
丸尾会長	ご意見、ご質問はいかがですか。
委員	P3、幹線道路の整備方針に関して、(仮称)駅前線については、どのように変更されるのか。
事務局	現行計画では駅南口のアクセス整備のみとなっているが、次のマスタープランでは北口のアクセス道路も検討する。また、南口についても駅前線にこだわらず、幅広く検討する。
丸尾会長	⑤今後のスケジュールについて 事務局より説明を願います。
事務局	(資料6に基づき説明)
委員	策定スケジュールについて、コロナウイルスの影響は予想されるか。
事務局	現状では遅れは出ていませんが、可能性はゼロではないので、今後状況をみながら判断していきたい。
丸尾会長	(2) その他 連絡事項など何かございますか。
事務局	4月中旬以降で、次回の日程調整を行う予定。 閉会 (午後3時40分)